

社会人講話 (2016/04/23 進路指導課)

4月23日(土) 2・3年生全員を対象にした土曜補習講座「社会人講話」がありました。(株)ステンレス久世の取締役工場長伊藤義治氏を講師としてお迎えし、「ものづくりの考え方」と題して、講演をいただきました。仕事には意欲と向上心を持って積極的に取り組むことがなにより重要であること。そして、それは日々の出来事に対し真面目に取り組むことによって育まれるなど、ご自身の体験談を交えながら、わかりやすく教えていただきました。生徒たちは、高校生活を積極的に過ごすこと、普段の授業をしっかり聞くことの大切さを改めて実感したようです。

この「社会人講話」は今年度3回の開催が予定されており、キャリア学習の一環として、地元企業の役員をなさっている方々から直接本校生徒に語りかけて頂く企画です。



春季大会 (2016/04/23,24 生徒会課)



女子バドミントン部 団体戦 vs 七尾 A 結果 0-3 ストレートで負けてしまいましたが、最後まで諦めずに戦いました。個人戦 前田愛佳は1セット目を取り、3セット目までいきましたが、力及ばず負けていしまいました。どの選手も練習してきたことを少しでも発揮し、次の総体につながるいい試合になりました。

男子バドミントン部 団体戦 vs 鵬学園 B 結果 0-3 ストレートで負けてしまいましたが、最後まで諦めずにポイントを取りに行く姿勢が選手一人ひとりに見えました。個人戦 橋本和哉が3回戦まで進出しました。接戦を演じた選手もあり、全員が公式戦という緊張感のある雰囲気の中で、持てる力をしっかり発揮できていました。次の総体に向けて収穫の多い、よい試合となりました。



剣道部

金沢大学角間キャンパス体育館にて、第63回四高旗並びに金大旗争奪石川県高等学校春季剣道大会が開催された。本大会は勝ち抜き戦で、選手1人から出場ができる。1回戦は、輪島高校と対戦した。宝達高校は選手一人であったが、見事、相手チームの選手5人を勝ち抜き、1回戦突破をした。

3人目あたりで、疲れが見えてきたが、気持ちを奮い立たせ、大きな掛け声で相手を撃破していく姿に会場の観客も菊地選手を応援する雰囲気が広がっていった。いよいよ5人目を勝ち抜いた時、会場の観客から拍手が沸いた。試合後、菊地は、「すごく疲れたけど、勝ち抜くことができ嬉しい」と喜びを語ってくれた。閉会式で、362名中16名が選出される優秀選手に選ばれ表彰を受けた。審判長からの講評においても、特に菊地の日々の稽古の様子について取り上げられ、今後の稽古に対する励みとなった大会となった。

